令和6年度 第2回大野市使用料等見直し検討委員会 会議録

日時：令和6年8月29日（木）

午後6時30分から

午後8時まで

場所：市役所 大会議室

<出席者> 大野市使用料等見直し検討委員 14名（欠席者なし）
総務課長、総務課参事、総務課課長補佐、総務課員 4名

1 開会

2 委員長あいさつ
桑原委員長あいさつ

3 議題

(1) 使用料等の設定基準（素案）について

・資料説明

※議事要旨は別紙のとおり

(2) 今後のスケジュールについて

・資料説明

4 その他

次回会議について → 10月4日（金）18時30分から

5 閉会

松田副委員長あいさつ

議事要旨【主な意見】

議題（１）使用料等の設定基準（素案）について

●使用料・手数料にかかる受益者負担の算定基準（素案）について、前回との変更点を中心に説明

○負担割合は前回から見直したのか。

⇒前回提示したのは、公共施設等総合管理計画による区分の負担割合であったが、担当課とヒアリングを実施し、負担区分を決めた。

○原価に建設費の減価償却費分を入れることとなっているが、建設費を算入するか、しないかでは大きく変わる。

⇒建設費の減価償却費分を入れて算定した使用料の方が、見直しに適していると判断し加えた。

○建設費には補助金が入っているのでは。実際市が負担した分を、利用者に負担してもらうのであれば、補助金は差し引くべきでは。

⇒補助金は差し引いていない。

○減価償却についての考え方は、2通りあり、建設費等かかったコストを負担してもらう場合と将来の建て替えや修繕のために負担してもらう場合。後者であれば補助金は差し引かなくてもよい。

⇒将来の世代に負担とならないように現在の利用者に負担してもらう意図がある。

○有終会館など寄付された施設の取扱いは。

⇒寄付されたからといって、建設費を算定から差し引くと、次に建てる場合、将来の利用者がすべて負担することになる。現在の利用者も負担すべき。

○建設費を算定に含めるかどうか。現在の利用者に負担してもらう考え方もあるので、含めることでよいのではないか。

【建設費を算定に含めることです承】

○消費税は入れないのか。

⇒市としては消費税を納付する団体ではないので表示していない。

○消費税は市としては納付団体ではないが、経費では消費税を払っている。消費税は使用料でもらうべき。内税としてもよい。ひと言加えてはどうか。

○将来税制改正があり、消費税が上がった場合を考えると、消費税の取扱いについての記載があった方がよいのでは。

○過去には消費税が上がるタイミングで、使用料を見直ししたのでは。

○消費税を入れるのであれば、内税ではなく見えるようにしたほうが分かりやすい。

○使用料に消費税を加えるのであれば、消費税分の重複を避けるため、経費の消費税分は除いて計算した方が良いのでは。

⇒「消費税が含まれている。」と明示すればよいのか。

○使用料算定を税抜きで行い、それに10%加えるのがよい。いくつか計算してみて、さほど差が出ないようであればそのままでよいが、内税である旨の表記は必要。

⇒いくつかのサービスについて、消費税抜きで原価の算定を試し、消費税の表記についてどのようにするのかを次回の検討委員会で報告させていただく。

○この素案の構成だが、負担割合が最初になっているが、使用料を算定する基準であるので、使用料の算定方法→原価のこと→負担割合の順にしたほうが分かりやすい。

○表1と表3が似ている。表1は削除してもよい。

○表1は文書で記載してはどうか。表1は公共施設等総合管理計画の中のことが記載してある。

○表3の「中間」がわかりにくくないか。

⇒構成も含め、検討する。

→ 基準（素案）を（案）とすることに全会一致で承認

議題（2）今後のスケジュールについて

●資料で今後のスケジュールを説明

○意見なし